

！ 培養開始にあたっての注意 ！

AES0174:rdES2-1 は、通常の多くの細胞とは異なります。

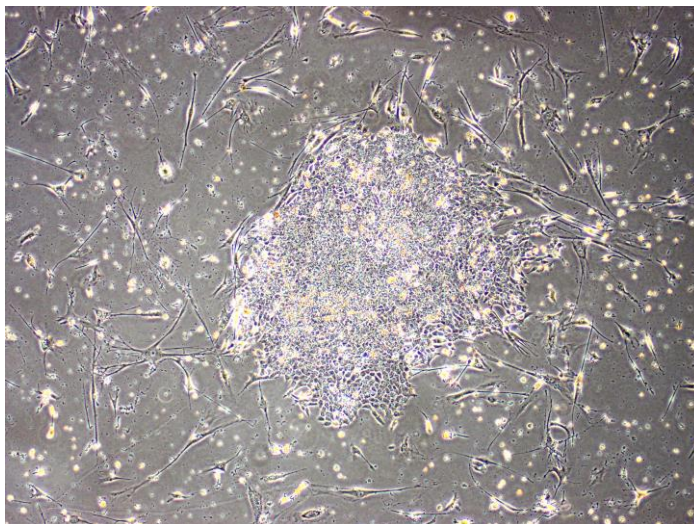
融解後および継代時には必ずセルカウントを行い、生存細胞数が推奨の継代密度($0.5-1.0 \times 10^4$ cell/60mm dish)になるように希釈して培養を開始してください。

写真のようなコロニーが確認されたら継代操作を行ってください(画像参照)。(融解直後は増殖性が低下しているため、継代まで 4-5 日必要となります。)

継代時の洗浄には DMEM/F12 培地(KSR 不含)を使用してください。

継代操作には DMEM/F12 培地(KSR 不含)で希釈した 0.1% Trypsin にて解離を行ってください。

Single cell に単離して継代を行ってください。



個々の細胞の輪郭が不明瞭なコロニー
(ウサギ ES 細胞 : 融解後 4-5 日)

培養の開始にあたりましては、この点にご留意ください。

【お問い合わせ】 cellqa.brc@riken.jp